



**FURUNO**

報道関係各社 各位

2016年9月1日

## NAPAと古野電気が船舶運航のデジタル化支援に関する協業を開始

NAPA Ltd.(本社:フィンランド・ヘルシンキ、Juha Heikinheimo 社長、以下 NAPA)と古野電気株式会社(本社:兵庫県西宮市、古野幸男社長、以下 古野電気)はこのほど、全世界の船舶運航に関するデジタル化をサポートするサービスの販売、開発および事業化を共同で推進していく事に合意いたしました。



▲写真左: 古野電気・小池宗之 専務取締役 船用機器事業部長、写真右: NAPA Juha Heikinheimo 社長

今回、NAPAと古野電気は、本船上で計測されたデータ信号を収集・レポートするソフトウェア「NAPA Performance Monitoring」と「NAPA Logbook」を共同で販売すると共に、商品開発・事業化の取組みを開始いたします。具体的には、古野電気の船用電子機器、衛星通信サービスと、NAPAの電子データ収集・レポート・分析に関するソフトウェア技術を組み合わせたデータコミュニケーションサービスを通じて、海運会社・船舶管理会社・船舶保有会社による船舶運航の効率化や船員の業務生産性向上、陸上における船舶管理業務の最適化に貢献いたします。

NAPA が提供する2種類の運航支援ソフトウェアは、モニタリングデータを船陸間で共有するだけでなく、高度なデータ解析技術により運航の効率や安全性を高めることができます。また、二酸化炭素 (CO2) 排出量監視に関する欧州の環境規制 (EU MRV) などへの対応を見据えた、本船データの収集、レポート、保持に関わるソリューション提供に向けた取組みも進めております。

なお今回の協業にあたって、2社のコメントをご紹介します。

**NAPA Juha Heikinheimo 社長:**

「今回の協業に関する古野電気の貢献と将来構想に関して大変感謝しています。われわれのパートナーシップは、全世界の海運業界およびそこで運航される船舶に対し、重要かつ基礎的な部分で貢献できるものと信じております。海運業界では、情報通信量の増加、強固な情報セキュリティに基づくレポート、収集データの急激な増大に伴うビッグデータ技術の活用が近い将来に迫っています。NAPA と古野電気はデータ活用を中心とした海運業界の発展に貢献してまいります。」

**古野電気 小池宗之 専務取締役 船用機器事業部長:**

「NAPA は海事産業に対して、非常に優れた船舶データ収集、管理、および解析技術を提供しています。NAPA Shipping Solution と、古野電気のナビゲーション、通信機器、およびグローバルなサービス体制が組み合わさる事で、海事産業における IoT 分野で、両社が大きく成長していくことを確信しています。」

**【報道関係者お問い合わせ窓口】**

水谷・村上

NAPA Japan 株式会社

T: 078 325 2160

E: japan@napa.fi